

# 丸徳グループ

## 車両分科会

だ よ り

Vol. 6

丸徳グループ各社従業員の皆様  
毎日の業務、ご苦労様です。

今月の記載内容は・・・

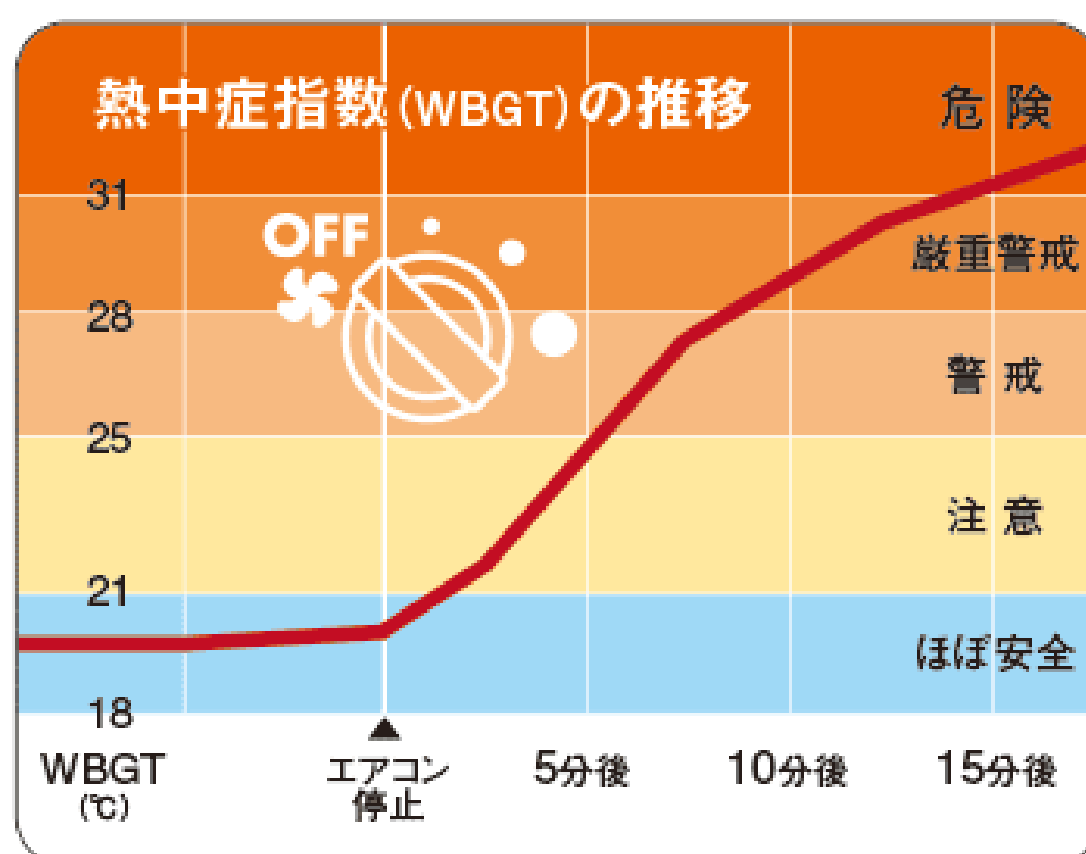
- ・ **熱中症**の危険！
- ・ **高速道路走行時**の注意事項
- ・ **交通安全セミナー**が開催されました
- ・ 愛知県警からのリーフレット
- ・ 危険予知トレーニング〔前回の解答例〕
- ・ 今月の**危険予知**トレーニング

# 短時間で熱中症の危険！ 真夏の車内温度（JAFユーザーテスト）

## 1.短時間であれば、子どもを車内に残しても安全？

天候：晴れ 気温：35度

子どもを車内に残したと想定し、熱中症の危険度を測定



※WBGT（熱中症指数）とは、人体の熱収支に影響の大きい気温、湿度、輻射熱の3つを取り入れた指標で、乾球温度、湿球温度、黒球温度の値を使って計算する。暑さ指数ともいう。

## 結果

エアコン停止からわずか15分で、熱中症指数が危険レベルに達した。

乳幼児は体温調節機能が未発達で、高温下では短時間で体温が上昇し、死に至ることがある。寝ているからという理由で、車内に子どもを残すのは大変危険である。

## 2. ダッシュボードに物を置いて大丈夫？

天候：晴れ 気温：35度

日用品をダッシュボードに置き、状態変化を調べた。



クレヨン



約1時間で黒から溶け始め、約1時間20分で全て溶けて流れ出した。

卵



約1時間で白身の周りが白くなり、約2時間で全体が白く固まった。

スマートフォン



警告画面が表示され、一部の機能を除いて使用不能になった。

# JAF 真夏の車内温度

詳しくはJAFのホームページを検索

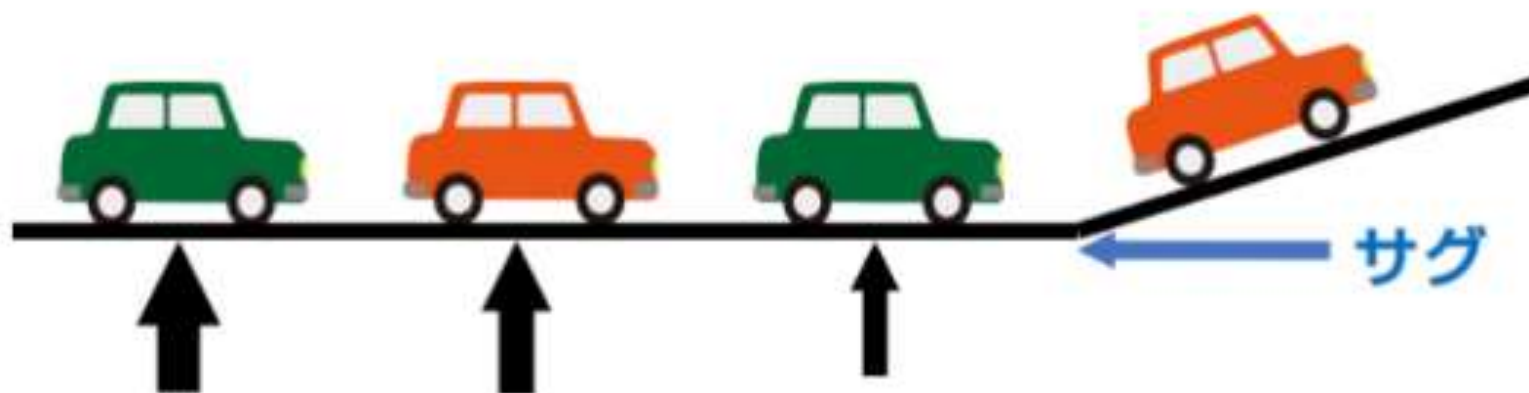


# 知っておこう！ 高速道路のこと

帰省やレジャーで多く利用する夏の高速道路。  
事前に準備・確認をして、安全に走行しましょう。

## ◆渋滞はどうやって起きる？

### ○サグ部での渋滞



- ・後続車が車間距離を空けていればブレーキは踏まない
- ・後続車が車間距離を詰めていれば少しの減速で大きなブレーキを踏ませることになる

詰めた車群 → サグによるかく乱 → 自然渋滞

### ○合流部での渋滞

複数車線が交わる箇所を合流といいます。このような場所では、**流れに無理やり割り込もうとする車があります。**そうすると、**急にブレーキを踏むことになり、後ろの車も同じように急ブレーキを踏むため、渋滞が起こりやすくなります。**

### ○トンネルでの渋滞

人は急に暗いところに行くと、**周りが一瞬見えなくなって怖くなり、アクセルからちょっと足を外したり、ブレーキを踏んだりします。**後ろの車にもそれが伝わり、結果としてトンネルの入り口から少し入ったところで渋滞が発生してしまいます。

## ◆早めの休憩で疲れないう運転を



夏場の運転はストレスが高いため、**疲れないように注意することが必要です。**高速道路を長時間走行する場合には、**最低でも2時間に1度は休憩を入れる**ように計画を立てましょう。

## ◆疲労のサインは居眠り運転のサイン



高速道路走行中などに次のような兆候が現れたときは、すぐに最寄りのパーキングエリアで休憩してください。

- まばたきの回数が増えて、目がショボショボする → マイクロスリープが始まる寸前
- ぼんやりしてきて、あったはずのサービスエリアをいつのまにか通過している → すでに短い居眠り運転が起こっている
- あくびをして、無意識に肩や首を回している
- 足が重くなり、アクセルペダルを踏むのが面倒になってくる



- 予め休憩する場所を決めておくこと
- 体調に異変があるときは無理に走行しないこと
- 交通情報を事前にチェックすること

# 第37回交通安全セミナーが開催されました！

## 【運転時に気を付けてほしい3つのポイント】

### 1. 見通しの悪い場所の運転に気を付ける

見通しが悪い交差点とは、交差点の端に立ち、左右の道路が50メートル程度見通すことが出来ない場所となります。こういった場所で、夜間・雨天・速度の3つの要因が重なると事故の起こる可能性が非常に高くなるので注意が必要です。

### 2. 右側からくる横断者に注意する

自車の進行方向に対して左側の歩行者に比べ、右側の歩行者の視認性は格段に悪くなります。特に高齢者の方ですと、横断するスピードが遅くなるので渡りきるまでしっかり確認が必要です。

### 3. 運転することに慣れないこと

運転技術と安全確認は別物です。若葉マークを付けている方より運転に慣れた方のほうが事故は多く発生しています。運転に慣れてくると、スピードを出しすぎたり、安全確保が疎かになってきます。

## 【こんな交通違反に注意】

### 1. 交差点への進入禁止違反

交差道路の車両を妨害する恐れがある場合は、交差点内に入ってはいけません。

※前方が混雑している場合、横断歩道の上に停止する恐れがある場合は交差点への進入をしてはいけません

### 2. 携帯電話の注視違反

画像注視というのは携帯電話だけでなく、カーナビやバックモニターも入ります。バックする際にバックモニターを見ながら事故を起こすと重たい罰則になります。

※注視＝約2秒

### 3. 警音器使用制限違反

クラクションは警笛区間のみ、使用できます。

※緊急時、やむを得ない場合を除く



## 4. 歩行者の横断方法違反

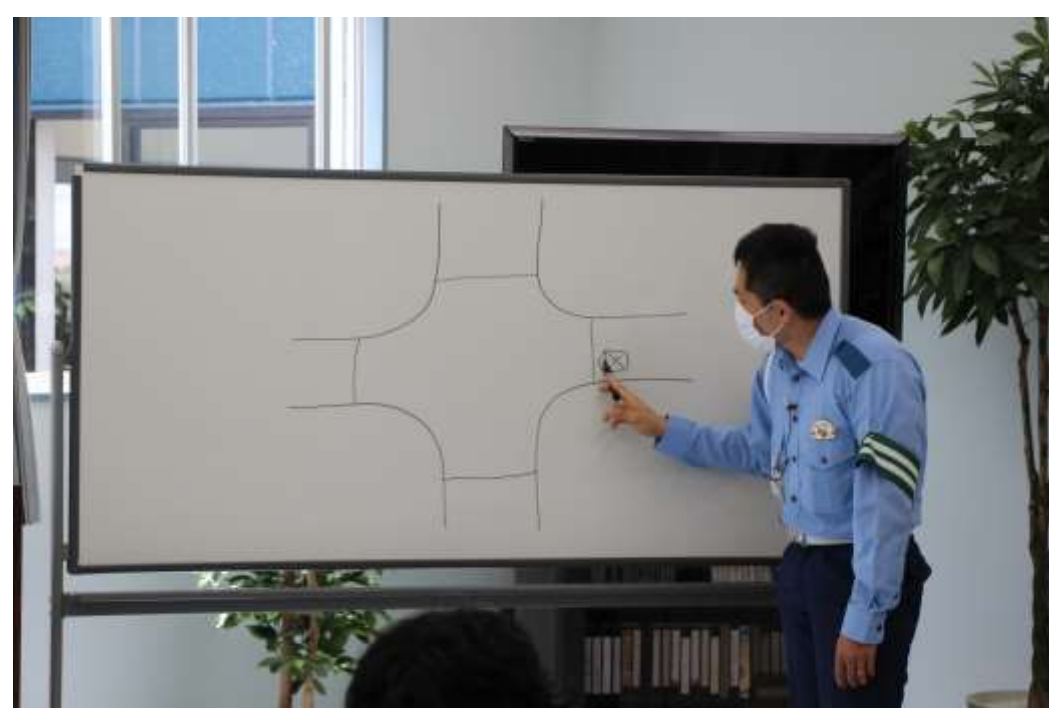
斜め横断・車と車の間を通る行為・渋滞で停車中の間を通過の横断、これらは全て違反となります。

## 5. 車両の灯火違反

車両の灯火をしなければいけないのは日没から日の出までです。早めの点灯を心がけましょう。

## 6. 信号無視違反

信号機の黄色は停止です。後方から追突などの危険があるなど、やむを得ず止まれない場合に交差点に進出した場合は、速やかに交差点内から出る必要があります。信号機が赤になった際に交差点内に入ってしまった場合は、いけません。



交通ルールを守り、安全な運転を心がけましょう！



7月1日から法改正された電動キックボードについて

詳しくは警視庁webを確認しよう



### 特定小型原動機付自転車（いわゆる電動キックボード等）に関する主な交通ルールについて

これらの特定小型原動機付自転車に関する新たな交通ルールが適用されるのは、令和5年7月1日からです。

#### 特定小型原動機付自転車とは

特定小型原動機付自転車とは、次の基準を全て満たすものをいいます。

- 【車体の大きさ】  
長さ：190センチメートル以下 幅：60センチメートル以下
- 【車体の構造】
  - 時速20キロメートルを超えて加速することができない構造であること。
  - 走行中に最高速度の設定を変更することができないこと。
  - オートマチック・トランスミッション（AT）であること。
  - 最高速度表示灯（灯火が緑色で、点灯又は点滅するもの）が備えられていること。等

これらの基準を満たさないものは、形状が電動キックボード等であっても、令和5年7月1日以降も、引き続き、その車両区分（一般原動機付自転車又は自動車）に応じた交通ルールが適用されます。これらの基準を満たさない車両の運転には、運転免許が必要です。

#### 運転者の年齢制限

- 16歳未満の者の運転の禁止  
16歳未満の者が特定小型原動機付自転車を運転することは禁止されています。



警察庁  
ウェブサイト  
特設ページ

# 交通事故防止のPOINT



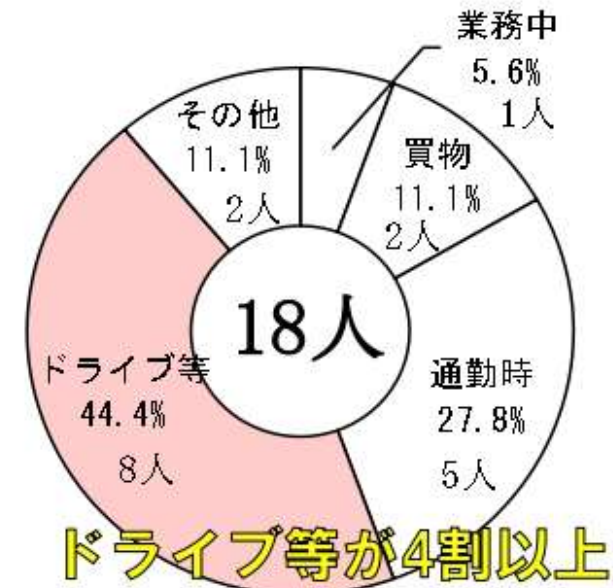
8月は、二輪車事故が多発！ ～7・8月は、連続して最多月～

8月

## 《過去5年 二輪車の月別死者数》



過去5年8月  
二輪車死者18人の通行目的



## 二輪車死者の事故のパターン

(過去5年・二輪車死者145人の分析結果)

**単独事故** 約4割

運転技術を過信せず、**速度を控え運転しましょう。**

**正面衝突事故** 約1割

**右折時事故** 約2割

対向の右折車両の動きに注意しましょう。

**出合頭事故** 2割以上

一時停止場所でもなくとも、見通しの悪い交差点では、左右の安全確認をしましょう。

### 二輪車死者の負傷主部位

部位	人数	割合
頭部	67	46.2%
胸部	42	29.0%
腹部	10	6.9%
顔部	4	2.8%
その他	22	15.2%

頭部への損傷のほか、胸部や腹部の損傷が多いことも二輪車事故の特徴です。自身の身を守るため、プロテクターやエアバッグジャケットを着用しましょう。



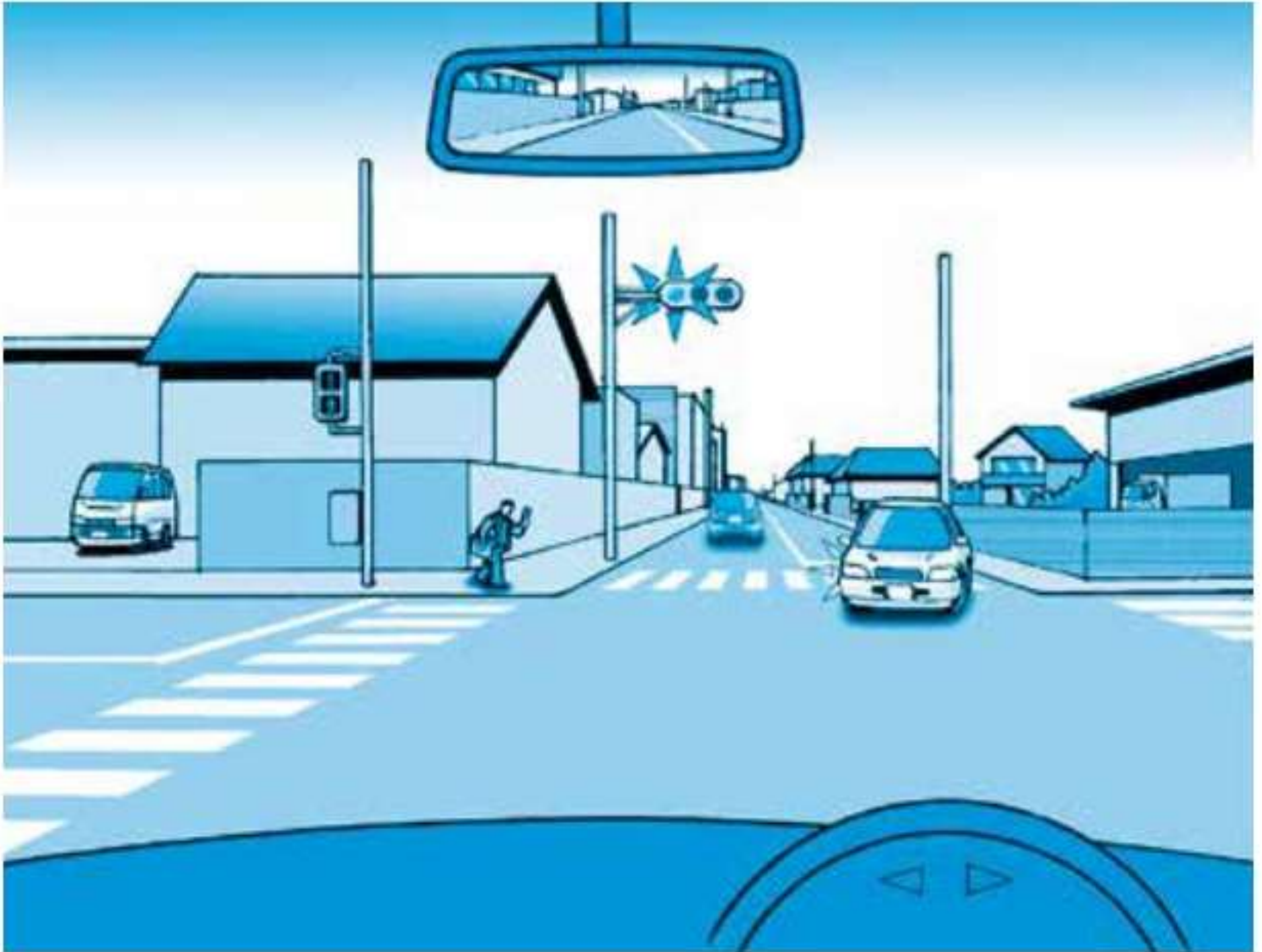
**～ 速度違反取締強化中 ～**

8月は、7月に引き続いて二輪車死者が年間で最も多い月です。レジャー等でお出掛けの際は、速度を控え、無理な追い抜き・追越しをせず、計画を立て時間にゆとりを持った安全運転に努めましょう。

※各表は、過去5年（H30～R4）に愛知県内で発生した交通死亡事故等を分析した結果です。



毎号、危険予知トレーニングのイラストや写真を掲載します。運転者として、又は同乗者として潜む危険を見つけて下さい。



### 回答例

### 危険予知ポイント

- ①強引に右折してきた対向車と衝突する。
- ②横断歩道を渡ってきた“ながらスマホ”の歩行者と衝突する。

#### ※対向右折車の動静に注意する

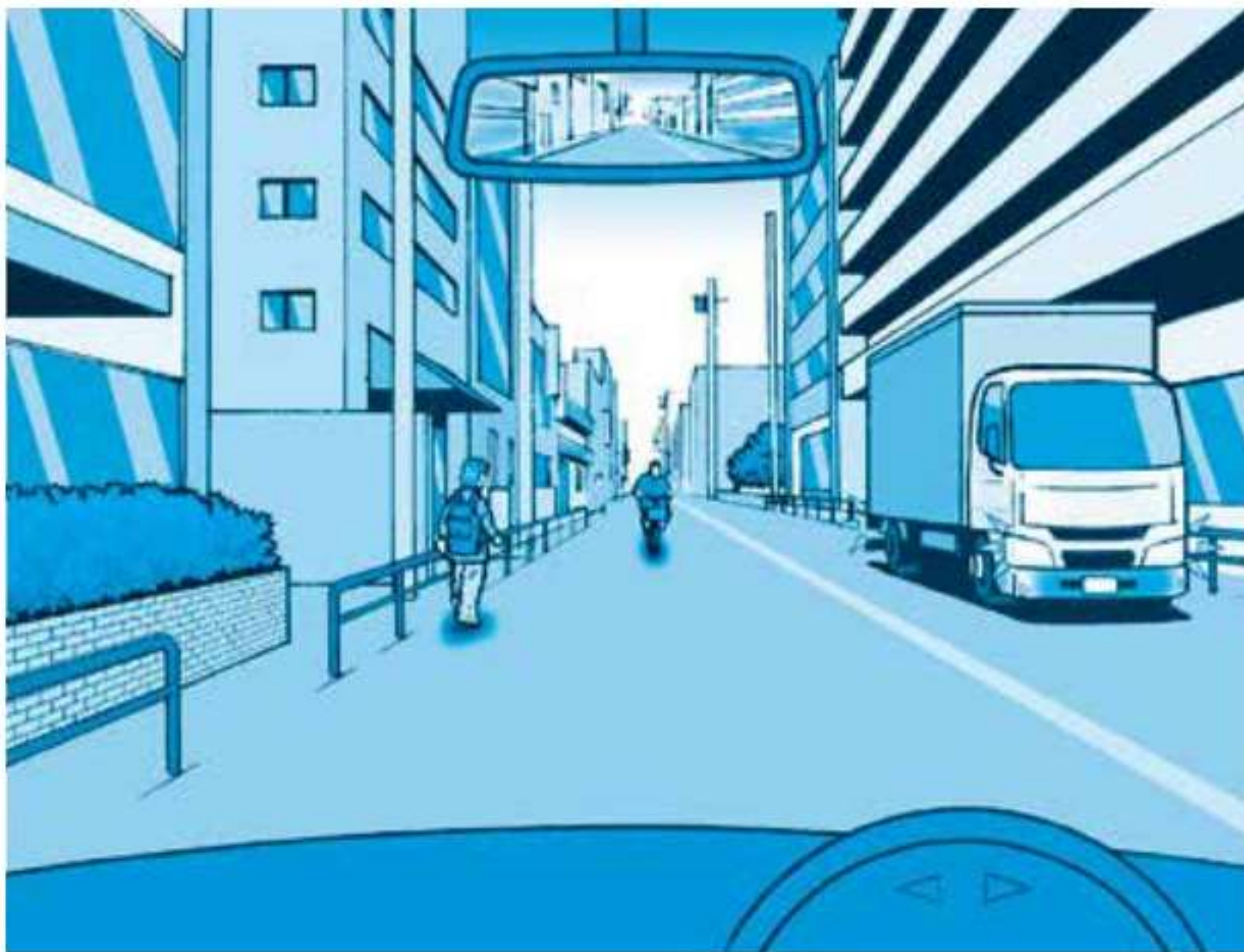
- 対向車線で右折待ちをしている車に対して、「直進優先だから右折車は止まっているだろう」と考え、漫然と運転していると、強引な右折をしてきた際、衝突する危険があります。
- 対向右折車がいるときは、その動静をしっかりと確認し、突然の右折に備えておきましょう。

#### ※歩行者の動きをしっかりと確認する

- “ながらスマホ”の歩行者は、周囲への注意力が散漫になることから、「赤信号や車の接近に気づかず横断する」といった危険な行動をとることがあります。
- 歩行者の動静を確認し、信号を無視して横断してくることも頭に入れて、スピードを落としておきましょう。

# KYT(危険予知トレーニング)

毎号、危険予知トレーニングのイラストや写真を掲載します。運転者として、又は同乗者として潜む危険を見つけて下さい。



## ドライバーとして

- イラストを見て、この運転場面に潜む危険要因を挙げてください。
- この場面での安全な運転方法について考えてください。

## 同乗者として

ドライバーにどのようなアドバイスをすればいいでしょうか。考えてください。

## 🚗 状況説明

片側1車線の道路を走行しています。前方の左側には歩行者がいるほか、自転車が接近してきています。

自車はこのまま進行したいのですが……。

回答例は次回の車両分科会だよりに掲載します。